



成果発表会

日時 12月8日(土) 午後3時30分～5時30分

場所 立正大学 品川キャンパス 11号館1151教室(大崎4-2-16)

参加者数 22人

一般観覧者数 20人

1.内容

1) チームごとにアイデアを提案

2) 審査委員 立正大学准教授 浅岡隆裕 (審査委員長)
Discover Japan 統括編集長 高橋俊宏
地域ブランディング協会 理事 佐藤真一
(株)ポニーキャニオン エリア・アライアンス部 部長 村多正俊
品川区企画部長 中山武志

3) スケジュール

15:30-15:45	開会挨拶 品川区副区長 桑村正敏 審査員紹介&参加へ一言エール
15:45-16:55	プレゼンテーション (6グループ・10分ずつ) 各グループプレゼンテーション終了後に審査員より講評
16:55-17:10	プレゼンテーション終了、審査会 (4階114A教室)
17:10-17:30	表彰式 審査について一言コメント 審査員全員 オーディエンス賞 最優秀賞 発表&賞状 総評 浅岡隆裕 審査委員長 閉会挨拶 中山武志 (司会・進行 フリーアナウンサー 金井良子)





成果発表会

2.プレゼンテーション資料 ※一部抜粋

A-1 nori noriプロジェクト

【品川区魅力発信ワークショップ】



**品川海苔
大復活プロジェクト**

～品川沖から日本全国そして世界へ飛ばたく！幻の味～

グループ名:A「nori noriプロジェクトチーム」
道藤 名倉 清水 石田

【半世紀ぶりに復活！「品川海苔」が都内最強の地元特産品と化す！】

▶江戸時代からの交通の要衝で、知名度抜群の「品川」だが、全国区の「特産品」となると・・・あまり思い浮かばないという人が多い。
だが、歴史を辿ると・・・品川ならではの「特産品」があった！

それが

【品川海苔】→品川は“海苔養殖発祥の地”
江戸時代から昭和まで大産地
【鉄火巻き】→品川宿の鉄火場(賭場)から
生まれた**品川発祥の食べ物**

▶64年の東京五輪で途絶えた「品川海苔」が20年の東京五輪で復活
経路性抜群の地元食材を使って
＜養殖＞＜製品化＞＜加工体験（日本人・訪日観光客）＞を事業化！
外国人目線の動画作成など国内外に向けPRも同時展開。
【海苔で品川を盛り上げる】

A-2 シェアサイクルでつなげる品川の「わ」

品川を日本一のシェアサイクル都市へ
～ちょっと近くて、ちょっと降りれる～

チームA2：シェアサイクルでつなげる品川の「わ」
阿波 天晴
安藤 広海
吉仲 理恵
与那嶺 豆

品川区の一部で実施されているシェアサイクルと
品川区が持つバラエティ豊かで魅力あふれる観光資源を結びつけることで
品川区の豊富な魅力を手軽に楽しめる新しい観光方法を区内外に発信する

豊富な魅力をプロモーション

ガイドツアー・様々なコースの設定で、品川区の豊富な魅力をプロモーションできる
→情緒あふれる“商店街”も栄えた大人の街“五反田”も、その全部が品川区なんです！

手軽で新しい観光体験

だれでも、手軽に、どこからでも、シェアサイクルで品川の全部を体験できる
→シェアサイクルで品川の魅力的な観光資源をつなげる・近づける
品川駅を利用するビジネスマンも、品川に住む家族も、誰でも手軽にシェアサイクル！

区民の利便性を高め、街の魅力を再発見

区外の人に新しい品川・東京の楽しみ方を提案

品川の豊富な魅力を広く伝えるために**シェアサイクルでつなげる品川の「わ」**

数年後には ⇒ このシェアサイクルを活かした「品川モデル」が東京観光の新しいスタンダードに！

B-1 PAKU PARK

Gyan Gyan
～ギャン泣きキャラバン～

しながわ B-1 PAKU PARK

<メンバー>
石川 富
日高 拓海
青野 将己

事業概要

<ターゲット>
未就学児がいるファミリー

<目的>
ファミリー層の移住・定住促進

<イベント内容>
ギャン泣きする年代の幼児がいる家族が遠慮無く
参加できるイベントを開催するし、そのイベントに
地域商店街の店舗を出店させることで、品川区に
住みたいと思ってもらえるようにする。



成果発表会

2.プレゼンテーション資料 ※一部抜粋

B-2 裏シナ



ura-shina

チームB 2
裏シナ

<メンバー>※発表順
佐藤裕樹、加藤暁子、本間順子、吉田智也、鶴井正博

だけど、、、



一般的な情報はよくあるけれど
品川の地元の人の生の声って
少ない！

C-1 キラキラしながわ



品川区魅力発信ワークショップ成果発表

グループ：キラキラしながわ

メンバー：土佐浩樹 / 長崎美穂 / 長沼美優 / 塚田 結代 / 高橋 敏志



事業概要
事業の目的は品川区の人口増加と企業の流入促進です！

事業名：品川人情発掘ラジオドラマ

- imaginationを刺激する「ラジオ」という媒体の活用
- ラジオのアプリ配信⇔SNSでの情報拡散の親和性
- 品川区のリアル空間を舞台にすることでの魅力発信

ターゲット：20～40歳代の女性をメインターゲットに設定

- 「共感」を得ることによる「区内リアル体験」への誘導
- 情報拡散力を活用し、区内人口流入の切欠に



C-2 キノココミッション



品川写真物語

～物語は1枚の写真から始まった～

キノココミッション



10年後、ドラマ化に至ったあの小説は、
たった1枚の写真から始まった



AI・画像解析

クラウド・ビッグデータ



審査結果

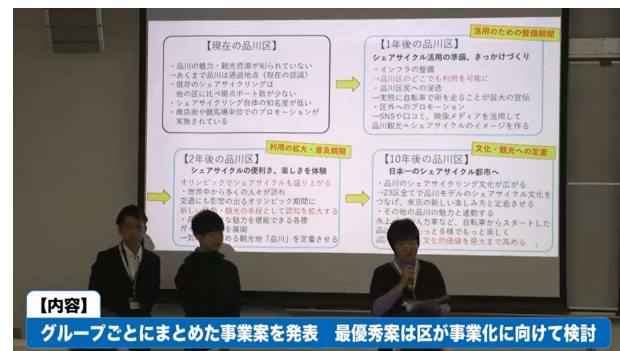
1.審査項目

審査項目は下記の5つ、5段階で評価

- 1) 新規性
- 2) 独創性
- 3) 将来性
- 4) 実現可能性
- 5) シティプロモーションへの貢献性

2.審査表 (チーム別)

	審査員 1	審査員2	審査員3	審査員4	審査員5	合 計
norinori	22	18	22	22	24	108
シェアサイ クルでつな げる品川 「わ」	18	22	17	18	19	94
PAKU PARK	15	16	16	16	14	77
裏シナ	14	18	17	18	17	84
キラキラ品 川	16	13	18	17	10	74
キノココ ミッション	15	21	15	17	10	78





審査結果

3.審査員コメント

A-1 norinori

- ・ストーリー、説得力のある素晴らしい企画だが、実現可能性に不透明な部分も。
- ・海苔は品川を代表するコンテンツの一つで発想として面白い。

A-2 シェアサイクルでつなげる品川の「わ」

- ・現状から課題を導き出してあるべき姿を事業企画としてうまく描けている。

B-1 PAKU PARK

- ・イベントそのものはファミリー層に受けそうだがこれを日常的な仕組みにできるとよい。

B-2 裏シナ

- ・「裏」というキーワードは人に興味関心を抱かせるには最高のキーワード。
- ・課題はネタがどこまで広げられるか。

B-3 キラキラ品川

- ・昭和のイメージの中で番組を聞いていると引き込まれる。
- ・プレゼンテーションも楽しんでいて好ましい。

B-4 キノココミッション

- ・アプリをどう知らせ、使用させるか疑問点が多いが夢がある企画。

4.審査員



審査委員長
立正大学文学部 准教授
浅岡 隆裕



株式会社ディスカバー・ジャパン
Discover Japan 統括編集長
高橋 俊宏



品川区企画部長
中山 武志



地域ブランディング協会
理事
佐藤真一



(株)ポニーキャニオン
エリア・アライアンス部 部長
村多正俊



審査結果

5.最優秀賞

受賞チーム nori noriプロジェクト

賞品 しながわみやげ（品川オリジナル風呂敷）

しながわ水族館ペアチケット



6.オーディエンス賞

（観覧者の投票により決定）

受賞チーム nori noriプロジェクト

賞品 シナモロールぬいぐるみ

しながわ水族館ペアチケット



品川区 魅力発信ワークショップ Discover SHINAGAWA オーディエンス賞					
A-1	A-2	B-2	B-2	C-1	C-2
nori nori プロジェクト	シェアサイクルでつなげる 品川の「わ」	PAKU PARK	裏シナ	キラキラしながわ	キノココミッショ
わ わ わ わ わ わ わ わ わ	わ わ わ わ わ わ わ わ わ	わ わ わ わ わ わ わ わ わ	わ わ わ わ わ わ わ わ わ	わ わ わ わ わ わ わ わ わ	わ わ わ わ わ わ わ わ わ

7.参加賞

- ・「Discover SHINAGAWAサポーター」名刺
- ・山北町足柄茶

